

平成 29 年度第 1 回 新潟県・新潟市調整会議あいさつ(要旨)

日時：平成 29 年 8 月 10 日（木）13：30～
会場：新潟県庁 201 会議室

■ 新潟県知事 米山 隆一

この 4 月に新潟市が政令市に移行してから 10 年を迎えたが、政令市・新潟市は、新潟県の県都でもあり、県内人口の約 3 分の 1 を擁する本県の顔である。

新潟市では、現在、都市機能の充実に向けて、多くのプロジェクトが進行中と伺っている。これらは新潟市という一つの自治体の枠を超えて、本県全体に大きな果実をもたらすものと感じている。

県全体の発展のためにも、新潟市の都市機能の充実は、重要な課題と考えており、県としても力を合わせて、取り組んでまいりたい。

さらに、県民そして市民のために、新潟県が新潟市と連携・協調して、新しい価値を創りだしていくためのチャレンジとして、具体的な成果を出していきたい。

本日は、北川顧問からもアドバイスをいただきながら、市長と率直な意見交換をさせていただき、有意義な会議にしていきたい。

■ 新潟市長 篠田 昭

新潟のまちづくりでは、来年の夏前には新潟駅の高架駅第一期開業、同一ホームで新幹線・在来線の乗換が可能になる予定であり、非常に大きなまちづくりのポイントを迎える。

また、来年度は開港 150 周年の記念の年度であり、そのキックオフイベントとして海フェスタを来年の 7 月の海の日を中心に、佐渡市、聖籠町と一緒に開催する。海フェスタには通常、秋篠宮殿下・妃殿下においでいただけるということで、開港都市新潟のイメージをアップする良い舞台になると思っている。

新潟市の拠点化、魅力アップは、新潟県の魅力アップにつながるということで、県と新潟市の課題については、この調整会議でしっかりとやらせていただき、また、県の市長会、町村会との意見交換も、このようなテーマでやっていこうと大体固まったと伺っている。この両輪を回して、県の魅力アップ、拠点化をできるだけ早く、できるものから進めさせていただければ大変ありがたい。

新潟のまちづくりが大きな転換点を迎えるときに調整会議を開き、新潟県から意見を言っただけすることは、新潟市にとって大変ありがたい。実りある調整会議となる土台ができたことを感謝する。